（別紙様式）　　１人１台端末の活用による実践事例

学 校 名	岡山県立和気閑谷高校		
実践者等	植田雅也	実践日	令和３年１１月４日
実践場面 （教科・科目、学校行事等）	数学 A		
対象生徒（学年等）	１年２組		
単 元 名 （教科・科目の場合のみ）	条件付き確率の利用		
使用したアプリ等	Google スライド・フォーム・スプレッドシート		
実践の概要（ねらい等）	・問いの要点を視覚的に整理する。 ・端末を用いてまとめを共有することで、ひとりひとりの学びを深める。		

実践の内容

① 授業前の手立て

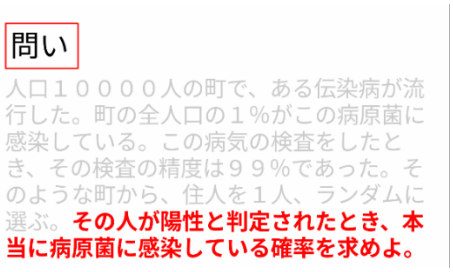
「条件付き確率の利用」についての予習動画を事前にクラスルームに投稿する。（反転学習）

② 導入・説明

予習動画の振り返りをすることで、本時の問いの流れを理解する。

③ 個人活動と計算

問題文から必要な情報を抜き出し、それを樹形図にまとめることで課題の解決を目指す。文中から「全事象」と「求める事象」を抜き出す活動など、問題文を整理する活動を行う際には、スライドを活用することで視覚的に情報を整理できるようにする。

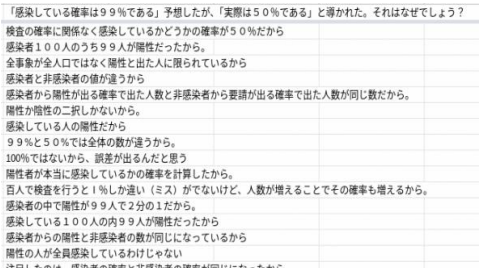


④ 条件変え

問題文にある前提条件を変えることで確率が変化することを確かめ、課題への理解を深める。

⑤ まとめ

Google フォームを活用してまとめをする。フォームで回答したものをスプレッドシートに反映させ、それをスクリーンに投影する。全事象求める事象の求め方に着目し記述させることで、導出された値の意味を理解できているかを確認する。重要な視点をもつ回答についてはスクリーン上で色付け、強調することで、うまく考えをまとめられていない生徒の参考になるようにし、全員の理解を深める。



参考となる HP 等	

実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。（肖像権の確認等は各校で行った上で提出してください。）